



よんなな・ころな・ききん
47 コロナ基金

資料提供

令和3年6月23日

公益財団法人とっとり県民活動活性化センター

電話：0858-24-6460

(担当：池淵・世瀬・野崎)



『47 コロナ基金とっとりつながるプロジェクト』

第1次助成団体決定

県内のボランティア、地域づくり、NPO活動を総合的に支援する公益財団法人とっとり県民活動活性化センターでは、47都道府県で取り組む「新型コロナウイルス対策」地元基金『47（よんなな）コロナ基金』と連携し、「47コロナ基金とっとりつながるプロジェクト」（以下、「本プロジェクト」という。）に取り組んでいます。

この度、みなさまからいただいた寄付を基に、第1次助成団体を募集し、審査会により2団体への助成を決定しましたのでご報告します。ぜひ助成団体の取り組みを取材いただきますようお願いいたします。

また、「47コロナ基金とっとりつながるプロジェクト」は引き続き令和4年3月末までオンラインにて寄付を募集しています。

記

1 本プロジェクトの概要

(1) 目的

本プロジェクトは「47コロナ基金」サイトを通じて集まった寄付金を、新型コロナウイルス感染症の拡大により団体の運営に影響を受け、かつ次世代のための事業・活動をおこなうNPO・NGOなどの非営利団体へ届けるための助成プログラムです。NPO等の非営利団体へ助成をすることで、私たちが暮らす鳥取県が次世代にとっても暮らしやすい地域であるために、多様な主体が抱える困難や課題に寄り添い解決しようとする活動を支援し、「誰ひとり取り残さない社会」の実現を目指します。

(2) 第1次寄付募集期間

令和3年3月5日（金）から3月29日（月）まで

(3) 寄付の方法

オンラインでの寄付

「47コロナ基金」サイト URL <https://congrant.com/jp/corona47/index.html>

(4) 助成団体について

新型コロナウイルス感染症の影響が広がる中、子どもたちの育つ環境にも影響が出ています。今回助成が決定した2団体については、どちらもコロナ禍での「子どもの居場所」についての取り組みです。ひとつは、子どもたちや子育て中の人たちが今実際どのような状況に置かれているのかを米子市内で調査し今後の地域での子どもたちへの支援に役立てようとするもの、もう一つは放課後の子どもたちの居場所の新しい可能性を探る取り組みです。

(5) プロジェクトの流れ



2 助成団体及び事業の概要

団体名：子どもの人権広場

事業名：すべてのこどもに、あんしんできる居場所を

事業の概要：主に米子市内において「コロナ禍における子ども子育て実態調査（地域版）の実施」、「子育て支援団体へのヒアリング」、「ちいさいおうちの居場所活動」を通じて子育て支援団体同士のネットワーク化を図り、地域の居場所づくりの活動を推進する。

助成金額：150,000円

団体所在地：米子市東町296（米子東法律事務所内）

団体連絡先：090-2409-7984

拠点「ちいさいおうち」のfacebookページ：<https://www.facebook.com/chisaiouchi>

団体名：認定NPO法人ハーモニカレッジ

事業名：新しい放課後の居場所「あそび〜馬」

事業の概要：鳥取市や八頭町の小学生を対象に、平日放課後に空山ポニー牧場でポニーとのふれあいや自然体験活動ができる子どもたちの新たな放課後時間を提供する。

助成金額：121,800円

団体所在地：鳥取市越後大谷752-1

団体連絡先：0858-72-2468

ウェブサイト：<https://www.harmony-college.or.jp/>

3 公益財団法人とっとり県民活動活性化センター（てとり）について

ボランティア活動、地域づくり活動、NPO活動を総合的に支援するとともに、NPO、企業、行政、自治組織等、多様な主体による協働・連携を推進することにより、県民活動の活性化及び、持続可能な活力ある地域社会づくりに寄与することを目的として、平成26年1月に設立。

県内の活動団体等が互いのノウハウや課題等を共有、意見交換し、SDGsの取組や鳥取の新たな住民参画型の県民運動「令和新時代創造県民運動」の推進に取り組んでいる。

4 主催・お問合せ

公益財団法人 とっとり県民活動活性化センター（担当：池淵・世瀬・野崎）

〒682-0023 倉吉市山根557-1 パープルタウン2F

電話：0858-24-6460 / ファクシミリ：0858-24-6470

電子メール：info@tottori-katsu.net / URL：<http://tottori-katsu.net>